



「開かれた学校づくり」から発信

このコーナーでは、各園・学校の取組や様子をお知らせし、地域の学校としての情報発信をしています。地域の皆様には、様々な取組にご理解とご協力をいただいておりますが、今後とも地域ぐるみで子どもの健全育成に関わってくださいますよう、よろしくお願いいたします。

伊野幼稚園



『あゆみの会・みどりの会』のお年寄りと年2回の交流を続けています

内野地区のお年寄りと交流を始めて今年で15年目になりました。平成7年の『いずみの会』の時から、毎年2月に老人憩いの家に5歳児が訪問して歌を歌ったりダンスを踊ったり一緒に手遊びをしたりして楽しい時間を過ごしてきました。

近年は9月にも幼稚園にお招きして3歳児から5歳児までの園児が、歌やダンスを披露したり一緒に手遊びをしたりしています。おじいちゃんおばあちゃんに名前やお歳を自己紹介していただいています。皆さん、とても元気でマイクを持つと、元気いっばいの声で話をしてくださいます。



今年は伊野幼稚園のガンバリマンたちが、フラフープや空手の型を披露したり、連続の逆上がり挑戦するところを見ていただいたり、落語の小噺を聞いていただいたりしました。披露するたびに、『ホー！』という感嘆の声や盛大な拍手をいただき、応援パワーのお陰で園児たちは得意満面で自信をもって取り組むことができました。



全員で『グーパー体操』をして指の運動を楽しんだ後に、3歳児は“コスモスのペンダント”、4歳児は“折り紙をちぎって貼ったマッサージ棒”5歳児は“「いつまでもお元気でね」と書いたメッセージカード入りのめがねケース”をプレゼントしました。「ありがとう。」とお礼を言ってくださる笑顔、お礼を言ってもらった園児たちの嬉しそうな笑顔があちらこちらに



いっぱいあふれていました。

その後、各クラスに分かれて「いくつ?」「お家はどこ?」「お弁当パクパク食べようね。」などと会話を楽しみながら一緒にお弁当を食べました。帰る時は「また来てね。」「また来るかね。」と名残り惜しそうにお別れを言い合いました。

お年寄りの温かさに触れ、お年寄りからも「毎年元気をもらっています。」との感想をいただき、この交流がお互いにとって良い機会となっています。これからも交流を続けていきたいと思っています。